

船舶事故調査報告書

平成25年2月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成24年8月25日（土） 07時00分ごろ～16時00分ごろの間）
発生場所	不明（静岡県浜名湖のマリーナ～愛知県豊橋市伊古部海岸までの間）
事故調査の経過	平成24年8月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ^{エムケー} MK、2.6トン 252-24458 静岡、個人所有 6.72m (Lr) × 2.49m × 1.38m、FRP ガソリン機関、84.60kW、平成15年4月
乗組員等に関する情報	船長 男性 63歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成16年9月16日 免許証交付日 平成21年9月10日 (平成26年9月15日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成24年8月25日07時00分ごろ、釣りをを行うため、浜名湖の所属マリーナを出航した。 本船は、16時00分ごろ伊古部海岸に無人の状態に漂着しているところを付近の人に発見され、警察署を通じて海上保安部に通報され、海上保安部から所属マリーナに連絡があった。 船長は、17時45分ごろ捜索中の消防署のヘリコプターにより、本船が漂着した海岸の沖約400mの海上において、救命胴衣を着用した状態で浮いているところを発見されて救助された。 船長は、救助後、救急隊員により心肺蘇生措置が実施されたものの、死亡が確認された。 船長の死因は、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1.5～2.0m

	<p>特記事項：中心気圧930hPaの台風15号が沖縄本島の南東海域を北西に進んでいた。</p>
その他の事項	<p>船長は、15時ごろに帰る予定であった。</p> <p>マリーナ関係者は、帰港予定時刻から1時間以上経過していたため、船長の携帯電話に16時15分ごろ連絡したが、留守番電話になっていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、07時00分ごろ浜名湖のマリーナを出航し、16時00分ごろ伊古部海岸に無人の状態に漂着しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺死したものと考えられるが、溺死に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が浜名湖のマリーナを出航後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>